

本品の飽和水溶液はわずかに酸性である。

確認試験

- (1) 本品 0.25 g を希エタノール 5 mL に溶かし、塩化鉄(Ⅲ)試液 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。
- (2) 本品 0.5 g に水酸化ナトリウム試液 10 mL を加え、30 分間煮沸し、蒸発して約 5 mL とし、冷後、希硫酸で酸性とし、析出した沈殿をろ取し、少量の水でよく洗い、デシケーター(シリカゲル)で乾燥するとき、その融点は 213 ~ 217 °C である。
- (3) 本品 0.05 g に酢酸(31) 2 滴及び硫酸 5 滴を加えて 5 分間加温するとき、液は酢酸エチルのにおいを発する。

融点 116 ~ 118 °C

純度試験

- (1) 塩化物 本品 2.0 g に水 50 mL を加えて加熱した後、氷水中で時々振り混ぜて 1 時間放置し、水を加えて 100 mL とし、ろ過する。ろ液 25 mL をとり、試験を行う。比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.50 mL を加える(0.035 % 以下)。
- (2) 硫酸塩 (1) のろ液 40 mL をとり、試験を行う。比較液には 0.005 mol/L 硫酸 0.40 mL を加える(0.024 % 以下)。
- (3) 重金属 本品 1.0 g をアセトン 25 mL に溶かし、希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液には鉛標準液 2.0 mL にアセトン 25 mL、希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする(20 ppm 以下)。
- (4) パラオキシ安息香酸及びサリチル酸 本品 0.50 g をジエチルエーテル 30 mL に溶かし、炭酸水素ナトリウム溶液(1 → 100) 20 mL を加えて振り混ぜ、水層を分取し、ジエチルエーテル 20 mL ずつで 2 回洗い、水層を分取し、希硫酸 5 mL 及びジエチルエーテル 30 mL を加えて振り混ぜ、放置する。ジエチルエーテル層を分取し、水 10 mL を加え、軽く振り混ぜて放置し、水層を除き、ジエチルエーテル液をろ過し、少量のジエチルエーテルで容器及びろ紙を洗い、ろ液及び洗液を合わせ、水浴上でジエチルエーテルを揮散させ、デシケーター(シリカゲル)で恒量になるまで乾燥するとき、残留物の量は 5.0 mg 以下である。また、残留物に水 5 mL を加え、加温してろ過し、ろ液に希塩化鉄(Ⅲ)試液 2 ~ 3 滴を加えるとき、液は紫色を呈しない。
- (5) 硫酸呈色物 本品 0.50 g をとり、試験を行う。液の色は色の比較液 D より濃くない。

乾燥減量 0.5 % 以下(2 g, シリカゲル, 3 時間)。

強熱残分 0.10 % 以下(1 g)。

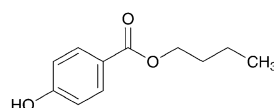
定量法 本品を乾燥し、その約 2 g を精密に量り、1 mol/L 水酸化ナトリウム液 40 mL を正確に加えて 30 分間煮沸し、冷後、過量の水酸化ナトリウムを 0.5 mol/L 硫酸で滴定する(指示薬: プロモチモールブルー試液 5 滴)。ただし、終点の色は pH 6.5 のリン酸塩緩衝液に同じ指示薬を加えたときの色とする。同様の方法で空試験を行う。

1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1 mL = 166.17 mg C₉H₁₀O₃

貯法 容器 密閉容器。

パラオキシ安息香酸ブチル

Butyl Parahydroxybenzoate



C₁₁H₁₄O₃ : 194.23

Butyl 4-hydroxybenzoate [94-26-8]

本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸ブチル(C₁₁H₁₄O₃) 99.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、におい及び味はなく、舌を麻ひする。

本品はエタノール(95)、アセトン又はジエチルエーテルに溶けやすく、熱湯に溶けにくく、水にほとんど溶けない。

確認試験

- (1) 本品 0.25 g を希エタノール 5 mL に溶かし、塩化鉄(Ⅲ)試液 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。
- (2) 本品 0.5 g に水酸化ナトリウム試液 10 mL を加え、30 分間煮沸し、蒸発して約 5 mL とし、冷後、希硫酸で酸性とし、析出した沈殿をろ取し、少量の水でよく洗い、デシケーター(シリカゲル)で乾燥するとき、その融点は 213 ~ 217 °C である。
- (3) 本品 0.05 g に酢酸(31) 2 滴及び硫酸 5 滴を加えて 5 分間加温するとき、液は酢酸ブチルのにおいを発する。

融点 69 ~ 72 °C

純度試験

- (1) 塩化物 本品 2.0 g に水 50 mL を加えて加熱した後、氷水中で時々振り混ぜて 1 時間放置し、水を加えて 100 mL とし、ろ過する。ろ液 25 mL をとり、試験を行う。比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.50 mL を加える(0.035 % 以下)。
- (2) 硫酸塩 (1) のろ液 40 mL をとり、試験を行う。比較液には 0.005 mol/L 硫酸 0.40 mL を加える(0.024 % 以下)。
- (3) 重金属 本品 1.0 g をアセトン 25 mL に溶かし、希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液は鉛標準液 2.0 mL にアセトン 25 mL、希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする(20 ppm 以下)。
- (4) パラオキシ安息香酸及びサリチル酸 本品 0.50 g をジエチルエーテル 30 mL に溶かし、炭酸水素ナトリウム溶液(1 → 100) 20 mL を加えて振り混ぜ、水層を分取し、ジエチルエーテル 20 mL ずつで 2 回洗い、水層を分取し、希硫酸 5 mL 及びジエチルエーテル 30 mL を加えて振り混ぜ、放置する。ジエチルエーテル層を分取し、水 10 mL を加え、軽く振り混ぜて放置し、水層を除き、ジエチルエーテル液をろ過し、少量のジエチルエーテルで容器及びろ紙を洗い、ろ液及び洗液を合わせ、水浴上でジエチルエーテルを揮散させ、デシケーター(シリカゲル)で恒量になるまで乾燥するとき、残留物の量は 5.0 mg 以下である。また、残

留物に水 5 mL を加え、加温してろ過し、ろ液に希塩化鉄(Ⅲ)試液 2～3 滴を加えるとき、液は紫色を呈しない。

(5) 硫酸呈色物 本品 0.50 g をとり、試験を行う。液の色は色の比較液 D より濃くない。

乾燥減量 0.5 % 以下 (2 g, シリカゲル, 3 時間)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

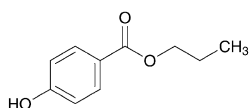
定量法 本品を乾燥し、その約 2 g を精密に量り、1 mol/L 水酸化ナトリウム液 40 mL を正確に加えて 30 分間煮沸し、冷後、過量の水酸化ナトリウムを 0.5 mol/L 硫酸で滴定する (指示薬: プロモチモールブルー試液 5 滴)。ただし、終点の色は pH 6.5 のリン酸塩緩衝液に同じ指示薬を加えたときの色とする。同様の方法で空試験を行う。

1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1 mL = 194.23 mg C₁₁H₁₄O₃

貯法 容器 密閉容器。

パラオキシ安息香酸プロピル

Propyl Parahydroxybenzoate



C₁₀H₁₂O₃ : 180.20

Propyl 4-hydroxybenzoate [94-13-3]

本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸プロピル (C₁₀H₁₂O₃) 99.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、におい及び味はなく、舌を麻ひする。

本品はエタノール (95), エタノール (99.5), アセトン又はジエチルエーテルに溶けやすく、熱湯に溶けにくく、水に極めて溶けにくい。

確認試験

- (1) 本品 0.25 g を希エタノール 5 mL に溶かし、塩化鉄(Ⅲ)試液 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。
- (2) 本品 0.5 g に水酸化ナトリウム試液 10 mL を加え、30 分間煮沸し、蒸発して約 5 mL とし、冷後、希硫酸で酸性とし、析出した沈殿をろ取り、少量の水でよく洗い、デシケーター (シリカゲル) で乾燥するとき、その融点は 213～217 °C である。
- (3) 本品 0.05 g に酢酸 (31) 2 滴及び硫酸 5 滴を加えて 5 分間加温するとき、液は酢酸プロピルのにおいを発する。

融点 96～99 °C

純度試験

- (1) 塩化物 本品 2.0 g に水 50 mL を加えて加熱した後、氷水中で時々振り混ぜて 1 時間放置し、水を加えて 100 mL とし、ろ過する。ろ液 25 mL をとり、試験を行う。比較液には 0.01 mol/L 塩酸 0.50 mL を加える (0.035 % 以下)。
- (2) 硫酸塩 (1) のろ液 40 mL をとり、試験を行う。比較液には 0.005 mol/L 硫酸 0.40 mL を加える (0.024

% 以下)。

(3) 重金属 本品 1.0 g をアセトン 25 mL に溶かし、希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液は鉛標準液 2.0 mL にアセトン 25 mL, 希酢酸 2 mL 及び水を加えて 50 mL とする (20 ppm 以下)。

(4) パラオキシ安息香酸及びサリチル酸 本品 0.50 g をジエチルエーテル 30 mL に溶かし、炭酸水素ナトリウム溶液 (1 → 100) 20 mL を加えて振り混ぜ、水層を分取し、ジエチルエーテル 20 mL ずつで 2 回洗い、水層を分取し、希硫酸 5 mL 及びジエチルエーテル 30 mL を加えて振り混ぜ、放置する。ジエチルエーテル層を分取し、水 10 mL を加え、軽く振り混ぜて放置し、水層を除き、ジエチルエーテル液をろ過し、少量のジエチルエーテルで容器及びろ紙を洗い、ろ液及び洗液を合わせ、水浴上でジエチルエーテルを揮散させ、デシケーター (シリカゲル) で恒量になるまで乾燥するとき、残留物の量は 5.0 mg 以下である。また、残留物に水 5 mL を加え、加温してろ過し、ろ液に希塩化鉄(Ⅲ)試液 2～3 滴を加えるとき、液は紫色を呈しない。

(5) 硫酸呈色物 本品 0.50 g をとり、試験を行う。液の色は色の比較液 D より濃くない。

乾燥減量 0.5 % 以下 (2 g, シリカゲル, 3 時間)。

強熱残分 0.10 % 以下 (1 g)。

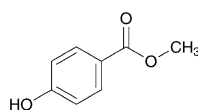
定量法 本品を乾燥し、その約 2 g を精密に量り、1 mol/L 水酸化ナトリウム液 40 mL を正確に加えて 30 分間煮沸し、冷後、過量の水酸化ナトリウムを 0.5 mol/L 硫酸で滴定する (指示薬: プロモチモールブルー試液 5 滴)。ただし、終点の色は pH 6.5 のリン酸塩緩衝液に同じ指示薬を加えたときの色とする。同様の方法で空試験を行う。

1 mol/L 水酸化ナトリウム液 1 mL = 180.20 mg C₁₀H₁₂O₃

貯法 容器 密閉容器。

パラオキシ安息香酸メチル

Methyl Parahydroxybenzoate



C₈H₈O₃ : 152.15

Methyl 4-hydroxybenzoate [98-76-3]

本品を乾燥したものは定量するとき、パラオキシ安息香酸メチル (C₈H₈O₃) 99.0 % 以上を含む。

性状 本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末で、におい及び味はなく、舌を麻ひする。

本品はエタノール (95), アセトン又はジエチルエーテルに溶けやすく、熱湯にやや溶けやすく、水に溶けにくい。

本品の飽和水溶液はわずかに酸性である。

確認試験

- (1) 本品 0.25 g を希エタノール 5 mL に溶かし、塩化鉄(Ⅲ)試液 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。